市報やまぐち

2024
7/1
July
No.438

特集 山口祇園祭 2
■山口市姉妹友好都市 韓国 公州市 5
■市政トピックス 6
■一般国道２号 台道・鋳銭司拡幅が事業化 8
■野菜を使った２つの食材でできるお弁当のおかず 9
■県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」 10
■イベントカレンダー 10

市報やまぐちの８月１日号と８月15日号は、合併号として８月１日に発行します。

神輿の熱気と夏の「音色」
山口祇園祭

祇園囃子や勇壮な神輿の掛け声、市民総踊りの「大内の～お殿様～♪」などの『音色』を耳にすると、山口の本格的な夏の訪れを感じる方もいらっしゃるのではないでしょうか。
今回は、長い歴史の中で大切に受け継がれてきた山口祇園祭について、ご紹介します。
問観光交流課☎083-934-2810

山口祇園祭は、八坂神社（山口市上竪小路）の祭礼で、毎年7月20日、神輿を御旅所へお連れする「御神幸」に始まり、同27日に八坂神社へお返しする「御還幸」までのお祭りです。その歴史は古く、室町時代、まん延する疫病の退散を祈願したことが始まりとされ、現代に至るまでの約600年もの間、連綿と受け継がれてきました。

しかし、その道のりは決してたやすいものではありませんでした。近年では、コロナ禍により、神輿の御巡幸を中止するなど、規模を縮小しての開催を余儀なくされました。そうした中でも、山口祇園祭を支え続けてこられた山口祇園祭振興会をはじめとする関係者や、地域の皆さんの思いとご尽力により、昨年、4年ぶりに復活開催を果たしました。

こうした山口祇園祭の歴史からは、まちの繁栄と生活の平穏を願い続けてきた山口に暮らす人々の思い、そして、その思いが昔から今も変わらずこの地に受け継がれていることが感じられます。

7月20日の夜、太鼓、笛、鉦によって奏でられる「コンチキチン」の音色がまちに響きます。―祇園囃子です。

八坂神社から御旅所までの参道をお囃子の演奏者を乗せた2台の山車（菊水鉾、眞車山）が、3基の神輿（四角、六角、八角）を先導しながら進みます。

実は、祇園囃子の「音色」には、神輿が通る参道を清め祓う意味があるのです。

山口祇園祭のあゆみ

応安2年（1369年）
大内弘世が京都祇園社を勧請し、社殿を造営

長禄3年（1459年）
大内教弘が京都の祇園祭を取り入れた祭礼（山口祇園会）を開催

昭和38年（1963年）
第18回国民体育大会（山口国体）を契機に「市民総踊り」が始まる

昭和51年（1976年）
「鷺の舞」が山口県指定無形民俗文化財に指定

令和2～4年（2020～22年）
神輿の御巡幸の中止（3年間）

令和5年（2023年）
復活開催

▲御巡幸の代わりにトラックで御旅所まで運ぶ準備をする様子

山口祇園祭に向けて練習する様子

一度は途絶えた「音色」

夏の風物詩として定着している祇園囃子ですが、昭和の時代に一度途絶えていたことをご存じでしょうか。

かつての山口祇園祭は、多くの山車（鉾と山）がまちを練り歩き、大変なにぎわいでした。しかし、時代とともに規模が縮小され、ついには、先の大戦で祇園囃子は途絶えてしまったのです。

お囃子のないお祭り（音なし祇園）となって年月が経ち、山口には、お囃子を演奏できる人もいなくなってしまいました。

自分たちの手で　祇園囃子を守り、伝える ――

京都から「西の京」山口へ

かつての山口祇園祭のにぎわいを取り戻したいとの思いから、祇園囃子を復活させるべく、昭和61年と62年に山口市観光協会は、京都へ赴き、祇園囃子の伝授を依頼しました。

しかし、その当時は、「祇園囃子を京都から外に出すことはできない」と断られてしまいます。

翌63年、再び京都に赴いた際に、「西の京と謳われる山口市なら」ということで、ようやく承諾をいただくことができました。その後、京都からご指導を賜り、練習を重ねることで、平成2年、ついに太鼓、笛、鉦のそろった祇園囃子を山口の地で復活させることができました。

現在、山口祇園囃子保存会では、京都で教えていただいた「日和神楽」「立田」「月」の3つの演目を現在も大切に守り、奏で続けています。

山口祇園囃子保存会 代表
真庭 宗雄さん

受け継がれる「音色」

復活から30余年の間、活動を続けてくることができて、とてもありがたく思っています。

また、今年5月には、山口市がニューヨーク・タイムズ紙（NYT紙）に取り上げられたことを契機に、ニューヨークで祇園囃子を披露する機会にも恵まれました（下段写真）。こうしたことをきっかけに、祇園囃子に注目が集まることで、子どもから大人まで携わる方が増え、山口の祇園囃子がこれからも継承されていくことを期待しています。

Interview.

親子で祇園囃子保存会に参加しています！

河村律子さん
瑞結さん

律子さん▶ニューヨークでは、山口祇園祭の様子をありのまま伝えることを意識して演奏しました。郷土の伝統を受け継ぐ大人の姿を見ることや、伝統に触れる経験は子どもの心に残ってくれるのではないかと思います。

瑞結さん▶祇園囃子を聞いた人が楽しそうに盛り上がっているとうれしくなります。山口祇園祭を見に来る友達や同世代の人にも関心を持ってもらえるといいなと思います。

今年5月にニューヨークで開催された「ジャパンパレード＆ストリートフェア2024」に本市からも参加し、山口祇園祭をはじめとする、山口の歴史と伝統・文化などの魅力を発信しました。

現地では、「NYT紙やパレード等で山口市を知り、ぜひ訪れてみたい」といった声が聞かれ、本市に注がれる期待の高まりを感じたところです。

市内はもちろん、国内外から山口祇園祭にお越しになる方々には、たくさんの人々の手で受け継がれてきた「音色」もぜひお楽しみいただきたいと思います。

▲ニューヨーク市マンハッタンで開催された「ジャパンパレード＆ストリートフェア 2024」で演奏を披露

2024年 山口祇園祭の見どころ

7/20（土）

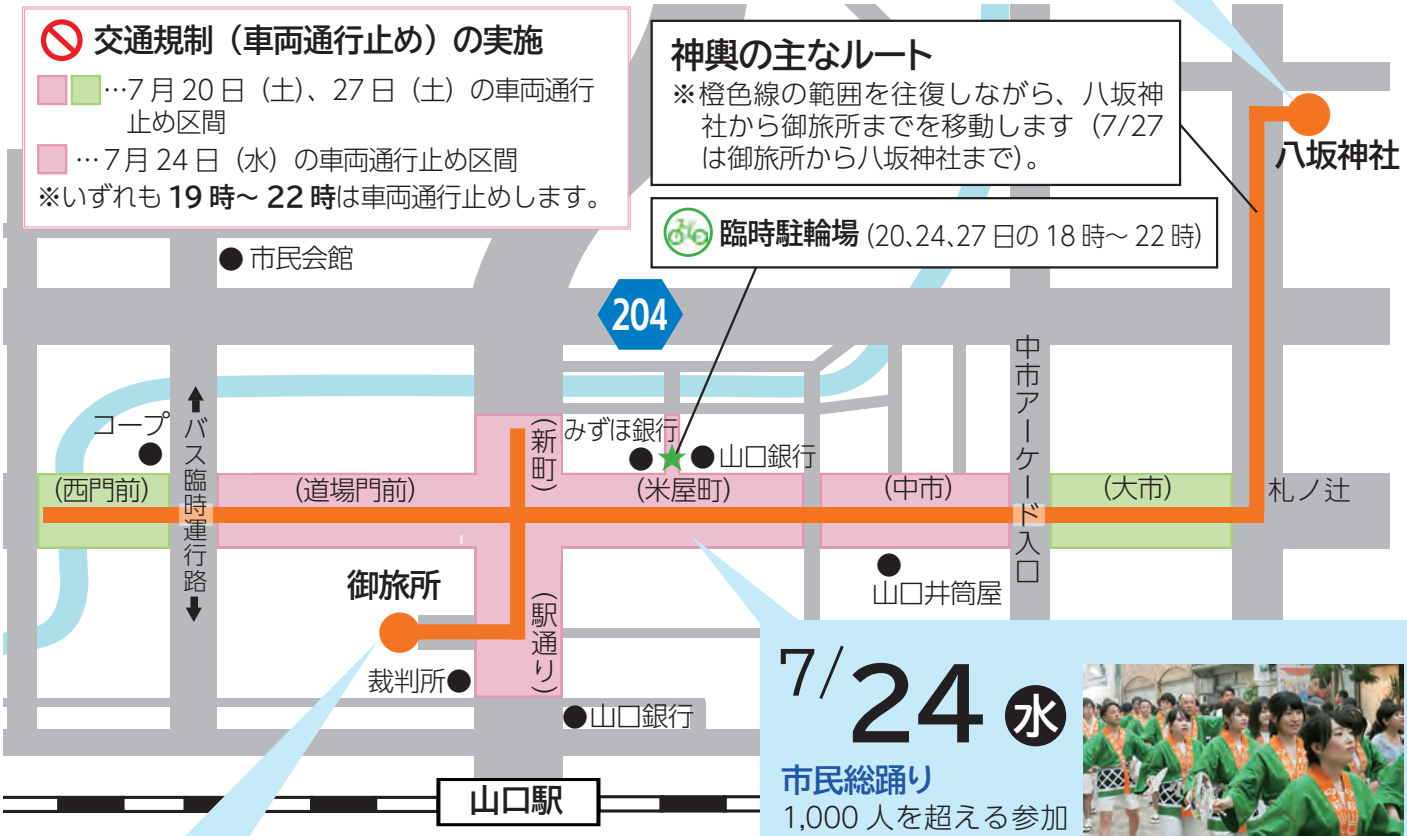
「浦安の舞」の奉納
地元小学生の舞姫たちが、「扇の舞」「鈴の舞」の２部からなる浦安の舞（神楽舞）を優雅に披露します。
▼**時間**　17時30分～
▼**場所**　八坂神社 拝殿

「鷺（さぎ）の舞」の奉納
山口市の「鷺の舞」は、現存する中で唯一、室町時代から一度も途絶えることなく伝承されてきた貴重な伝統芸能です。
▼**時間**　18時30分～
▼**場所**　八坂神社

浦安の舞（左）と鷺の舞（右）の様子

祇園囃子
▼**時間**　18時50分～
▼**場所**　八坂神社から商店街まで

御神幸（ごじんこう）（神輿（みこし）の巡幸）
四角・六角・八角の３基の神輿を約400人の裸坊が担ぎ、勇壮な掛け声とともに練り歩きます。
▼**時間**　19時～
▼**場所**　八坂神社から御旅所まで



7/24（水）

市民総踊り
1,000人を超える参加者による踊りが、祭りの中日を彩ります。
▼**時間**　19時30分～21時
▼**場所**　中心商店街

7/27（土）

＼御還幸では女みこしも登場／

「浦安の舞」の奉納
▼**時間**　18時30分～
▼**場所**　御旅所

御還幸（ごかんこう）（神輿の巡幸）
御旅所から３基の神輿を八坂神社へ戻してお祭りを締めくくります。
▼**時間**　19時30分～
▼**場所**　御旅所から八坂神社まで

神輿の担ぎ手募集中

神輿の担ぎ手として山口祇園祭に参加していただける方を募集しています。

日程	7/20（土）御神幸 7/27（土）御還幸	7/27（土）御還幸
対象	裸坊（男性）	女みこし（女性）
申込期限	7/10（水）	
申し込み問い合わせ	山口祇園祭振興会 ☎083-920-0222	山口市商店街連合会 ☎083-902-0892

山口市姉妹友好都市

韓国 公州市（こんじゅ）

◀公州市のマスコット コンジュ（左）コマゴム（右）

本市は、４つの海外都市と姉妹友好都市提携を結んでいます。姉妹友好都市とは、文化交流や親善を目的とした地方政府同士の関係のことで、韓国の公州市と昌原（ちゃんうぉん）市、中国の済南（さいなん）市、スペインのパンプローナ市が本市の姉妹友好都市です。今回は、昨年に姉妹都市締結30周年を迎えた公州市にスポットを当て、紹介します。

問 国際交流課 ☎083-934-2725

公州市について

公州市は、大韓民国の中西部に位置し、かつての百済王国の都として栄え、武寧（ぶねい）王陵（百済第25代武寧王の古墳）など、多くの文化財が残る歴史・文化のまちです。大内氏の始祖が、百済第26代聖明王の第3王子・琳聖太子（りんしょうたいし）であると伝えられていることから、平成5年に本市と姉妹都市となりました。

①武寧王陵および王陵園

②公山城（こんさんそん）

①百済王陵群で百済第25代武寧王とその王妃を合葬した古墳。②百済時代の代表的な古代の城壁で、64年間王都を守り続けた。近くに錦江（くむがん）が流れる人気の観光スポット。
武寧王陵を含む宋山里（そうちゃんり）古墳群と公山城はユネスコ世界遺産に登録。

相互の交流

本市と公州市は、これまで相互に市民訪問団派遣や姉妹都市締結30周年記念式典への参加など、市民同士、都市同士の交流を通じてお互いの地域性や文化を尊重しながら、国境を超えた友好関係を深めてきました。

また、今年度は姉妹都市締結30周年を記念して、8月6日（火）から8日（木）にかけて、公州市公式訪問団の受け入れを行います。

▲昨年10月6日に公州市で開催された姉妹都市締結30周年記念式典に本市の公式訪問団が出席しました。公州市庁舎前で公州市と本市のさらなる発展を祈念し、「富貴」の花言葉を持つ、“サルスベリ”の記念植樹が行われました。

▼公州市民に、国宝瑠璃光寺五重塔の視察や浴衣の着付け体験など、さまざまな文化体験を行ってもらい、日本や本市の文化について理解を深めていただきました。

公州市忠南燕亭国楽団（こんじゅしちゅんなむよんじょんこくがくだん）の演奏会開催

姉妹都市締結30周年記念として、伝統楽器を中心とした管弦楽団「公州市忠南燕亭国楽団」が本市を訪れ、下記の日程で演奏会が行われます。韓国の音楽文化に触れてみませんか。

■日時：8月7日（水）18時30分～20時（開場18時）
■会場：山口市民会館 小ホール（中央二丁目5-1）
■定員：200人
■料金：無料（要事前予約）※先着順
■申し込み：7月1日（月）から7月31日（水）までに右の二次元コードから申し込み。

演奏会にご来場いただいた方には、プレゼントもあります。

［公州市忠南燕亭国楽団］
韓国の伝統音楽をはじめ、現代の創作音楽など、さまざまな演奏を行う。

TOPICS

市政トピックス

ウェブサイトでも公開中

有限会社エフケイケイ物流の新事業所建設協定調印式

有限会社エフケイケイ物流（本社防府市）が、本市鋳銭司地域への新事業所建設と本社移転を決定されたことから、5月21日（火）に同社と本市が、県の立ち会いのもと、新事業所建設協定の調印式を行いました。

▲協定書を手にする有限会社エフケイケイ物流の木村代表取締役（右）、山口県の末廣企業立地統括監（中央）、市長（左）

調印にあたって、市長は「新事業所の建設を決定されたことは、本市が目指す『ずっと元気な山口』の実現に向けた原動力にもなるものと大いに期待し、大変心強く感じている」とあいさつしました。

また、有限会社エフケイケイ物流の木村昭徳代表取締役は「交通アクセスの良さや災害リスクなどを考慮して、鋳銭司地域を建設予定地として決定した。今後も、運送を通じて地域に貢献できるよう、頑張りたい」と述べられました。

新事業所は本年12月に操業開始の見込みで、操業に合わせて5人の新規雇用を予定されています。

問 産業立地推進課 ☎083-934-2813

ニューヨーク・タイムズ紙選出による経済効果の試算結果が報告されました

ニューヨーク・タイムズ紙（以下、NYT紙）「2024年に行くべき52カ所」への山口市選出を受けて、山口大学経済学部の加藤真也准教授の研究室において、NYT紙選出による山口県全体への経済効果が、2024年の1年間で89・9億円に上るとの試算結果が発表されました。

調査結果に関する報告のため、5月28日（火）、加藤准教授と研究室の学生が市長を訪問されました。加藤准教授は「NYT紙を契機に増加した観光客数を維持するために、まずは、外国人旅行者に対する言語対応などのおもてなし環境の整備が大事と考えます。彼らが観光案内所や地元の方々とふれあい、人の温かさに触れることは旅の満足度の向上につながると考えます」と話されました。

▲加藤准教授（左から4人目）、研究室学生5人と市長（右から3人目）

市長は「皆さんからの提案について、しっかり対応していきたい」と述べました。

問 観光交流課 ☎083-934-2810

学生消防団員就業奨励金・消防団員企業雇用奨励金交付式

本市では、学生消防団員の市内定住と将来の防災の担い手確保に向け、山口市学生消防団活動認証証明書の交付を受けて就職した方および採用した企業に対し、奨励金を交付する制度を設けています。

この度、河村真佑さんが、大学卒業後も地元の大内分団の消防団員として消防団活動を継続しながら、学校法人藤村学園 認定こども園 旭幼稚園へ就職されたことから、5月28日（火）に奨励金交付式を行いました。

酒井消防長は「保育教諭をしながら、地域の安全・安心を守る消防団員としての活動にも尽力してくださっていることに対し、心から感謝を申し上げる。今後、人口減少にともない、地域経済や産業活動の収縮等が懸念される中、若い消防団員が地域に定住し、地域コミュニティの中心として活躍されることを期待する」とあいさつしました。

▲奨励金を交付された河村さん（中央左）と旭幼稚園藤井理事長・園長（中央右）

河村さんは「令和3年から学生消防団員として活動してきたが、消防団員である父から学生消防団員就業奨励金制度の存在を教えてもらい、幼稚園職員として働きながら、消防

団員としても活動することを決めた。消防の広報活動や消火活動に励みながら、子どもたちに救助方法などを伝えていきたい」と述べられました。
問 消防本部警防課☎083-932-2202

災害時等におけるキッチンカーによる炊き出し等に関する協定

災害時等におけるキッチンカーによる炊き出し等に関する協定が、山口グルメケータリング協同組合と本市との間で結ばれることとなり、その締結式が5月29日（水）に行われました。

▲協定書を手にする山口グルメケータリング協同組合の田中代表理事（中央右）と市長（中央左）

市長は「近年は気候変動により災害が頻発化しており、避難場所での長期滞在の可能性を考え、被災者の皆さまの健康に配慮したさまざまな対応が必要となる。今回の協定により、衛生的で温かい食事の提供が可能となるため、不安な気持ちを抱える被災者の皆さまの安心感につながる」とあいさつしました。

山口グルメケータリング協同組合の田中太一代表理事は「災害発生時は住民の安全確保や心のケアが最優先。移動調理のできるキッチンカーの強みを生かして、バラエティーに富んだ食事の提供で、備蓄食料だけでは偏りがちな栄養を補い、被災者の心を満たしていきたい」と述べられました。
問 防災危機管理課☎083-934-2723

阿東地域交流センター篠生分館および道の駅「長門峡」駐車場竣工記念式典

6月2日（日）、阿東地域交流センター篠生分館および道の駅「長門峡」駐車場の一体的な整備が完了したことから、地元関係者等をお招きし、竣工記念式典を開催しました。

完成した篠生分館と、隣接する山口県農業協同組合長門峡支所との間は、屋根付きの連絡通路で結ばれ、一体的な利用が可能となっており、篠生地域の生活拠点として、利便性の向上が図られています。

また、県内外から多くの方にお越しいただいている道の駅「長門峡」については、駐車場が整備されたことにより、新たな阿東地域のにぎわいと交流の拠点として、さらなる集客と交流人口の増加が期待されます。

竣工記念式典に出席した市長は「篠生分館を新たな地域づくりの拠点として、生涯学習や地域福祉の活動を展開されるとともに、地域から愛される『にぎわいと交流を生み出す場所』として大いにご活用をいただきたい。皆様の活動が阿東地域の活力の創出やさらなる魅力の向上につながることを期待します」と述べました。

式典の後には、記念アトラクションとして、あとう夢語太鼓（ゆめだいこ）の皆さんによる太鼓の演奏の披露、餅まきが行われ、子どもから大人まで、多くの皆さんでにぎわいました。
問 阿東地域交流センター☎083-956-0116

▲あとう夢語太鼓の皆さんによる太鼓の演奏

表紙の写真

「夏のはじまりを告げる」

表紙の写真は、6月1日（土）に開催された阿知須浦（うら）まつりのひとコマです。約150年の歴史を持つ伝統行事十七夜祭（じゅうしちやさい）と花火大会で構成されています。

十七夜祭では、踊り曳（ひ）き山車（だし）や神輿（みこし）の練り歩きが行われ、山車は引き手が、神輿は担ぎ手が、それぞれ力を合わせて地域の祭りを盛り上げました。山車の1階では笛や太鼓で「シャギリ」と呼ばれるお囃子（はやし）の演奏を、2階の舞台では踊りを、子どもたちが披露しました。真剣な眼差しや笑顔からは、日々練習に励んだ努力が垣間見えるだけでなく、祭りに参加し、みんなでつくり上げる喜びを感じているようにも思えました。

花火大会では、約3500発の花火が夜空を彩り、多くの観客を魅了しました。

阿知須浦まつりを皮切りに、心踊る夏がこれから始まろうとしています。
問 広報広聴課☎083-934-2753

子どもたちによる踊りの披露

一般国道２号 台道・鋳銭司拡幅が事業化
～交通混雑の緩和と安全性の向上～

今年度、国土交通省において「一般国道２号 台道・鋳銭司拡幅」が新たに事業化されました。事業区間は防府市台道から山口市鋳銭司までの 2.8 ｋｍで、下図の赤い太線（━━）で示された区間です。
本市では今後も国、県及び関係団体と連携し、この区間の早期整備に向けて取り組んでいきます。

問 道路建設課☎ 083-934-2711

POINT! 道路が整備（４車線化・歩道設置）されることでさまざまな効果が期待できます。

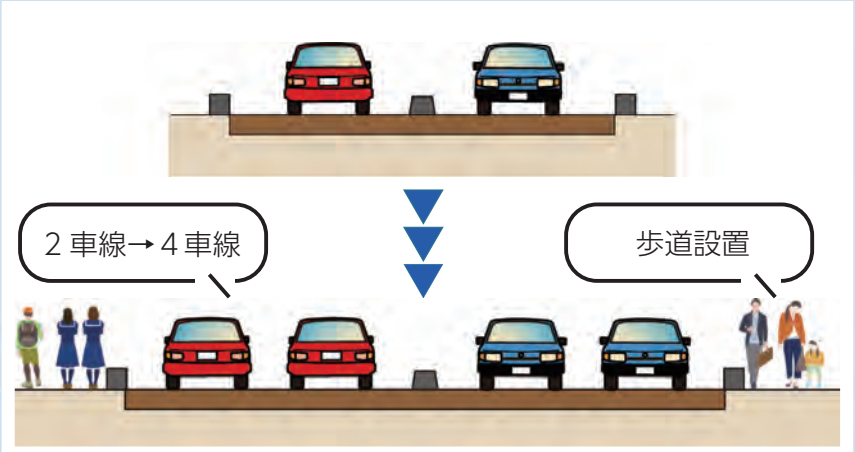
効果① 移動がスムーズに

■交通混雑の緩和
■移動時間の短縮

効果② より安全に

■交通事故の減少
■安全・安心な歩行空間の確保

道路整備のイメージ



効果③ 災害等に強い

■山陽自動車道との相乗効果
・災害時に代替路としての機能
・ダブルネットワークの強化

効果④ 医療体制の強化

■高度な救急医療に対応可能な県立総合医療センター等へのアクセス向上
■救急車両の到着時間の短縮

効果⑤ 経済活動を支える

■山口南インターチェンジ周辺の産業団地（鋳銭司第二団地等）から周辺の工場群へのアクセス向上
■本市での地域経済活動の促進

山口河川国道事務所のウェブサイトでも一般国道２号 台道・鋳銭司拡幅に関する情報をご覧いただけます▶

～主食・主菜・副菜を組み合わせて食べよう～

野菜を使った2つの食材でできるお弁当のおかず

１日３食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる習慣づくりのきっかけになるよう、また、不足しがちな野菜を簡単においしく食べることができるよう、小中学生を対象に「第18回ぼく・わたしのお料理コンクール」で、野菜を使った２つの食材でできるお弁当のおかずのレシピを募集しました。その中の入賞作品を紹介します。（学年は昨年受賞時）

入賞作品の作り方などを掲載したリーフレットは、各保健センターにあります。また、市ウェブサイト、市健康増進課インスタグラム（右の二次元コード）でもご覧いただけます。

ウェブサイト　インスタグラム

問 保健センター（健康増進課）☎083-921-2666

かぼちゃ×ごぼう

副菜

湯田中１年　石川樹菜（いしかわじゅな）さん考案

かぼちゃとごぼうコロコロ

【材料（４人分）】

かぼちゃ……180g
ごぼう……１本
片栗粉……大さじ１
サラダ油……大さじ２

A
- 砂糖……大さじ２
- しょうゆ……大さじ２

乾燥パセリ……少々

【作り方】

1 かぼちゃとごぼうを洗い、一口サイズに切る。ラップをしてレンジ（600W）で３分間加熱して、片栗粉をまぶす。

2 フライパンにサラダ油を熱し、１を焼く。

3 火が通ったら、Aを入れてからめ、出来上がりにパセリをかける。

片栗粉をまぶすことでカリカリ食感に！

作りおきおかずとして最適です！

ピーマン×鶏むね肉

主菜＋副菜

附属山口中１年　小野春佳（おのはるか）さん考案

とりとピーマンのみそ・しそいため

【材料（４人分）】

ピーマン……６個
鶏むね肉……400g

A
- 塩こしょう……少々
- 酒……小さじ１

片栗粉……大さじ１
サラダ油……大さじ１

B
- みそ……大さじ１・1/2
- みりん…大さじ１・1/2
- 水……大さじ１・1/2

しそ（みじん切り）……６枚
ごま（いり・すり）……各大さじ１

【作り方】

1 ピーマン４個は一口大に、残り２個をみじん切りにする。

2 鶏肉は一口大のそぎ切りにし、Aをふってよく揉み、片栗粉をまぶす。

3 フライパンにサラダ油を熱し、２を焼く。両面に軽く焼き色がついたら１を入れる。

4 鶏肉に火が通ったら、合わせたBを入れ、煮からめる。

5 火を止めて、しそとごまを入れる。

ピーマンの３分の１をみじん切りにして、多く感じないようにしています！

山口県央連携都市圏域
山口ゆめ回廊
YAMAGUCHI YUME KAIRO

圏域の市町におでかけしよう！
※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。

圏域７市町のイベント情報

美祢 水神公園滝開き・そうめん流し

７月７日（日）は滝開きの神事、マスのつかみ取りを開催。
期間　７月６日（土）～９月30日（月）※９月は土、日、祝のみ営業
場所　水神公園（於福町上西寺）
問 西寺そうめん流し事業部（飯田）
090-3176-4609

▲詳細はこちら

萩 萩博物館開館20周年記念特別展「海の妖怪展」

海坊主や船幽霊など日本古来の妖怪が集結！さらには萩の「ご当地妖怪」タキワロなどの珍魚・怪魚が登場。
期間　７月20日(土)～９月23日(月･休)
所 問 萩博物館（堀内355）
☎ 0838-25-6447

▲詳細はこちら

津和野 鷺舞企画展

令和４年に民俗芸能「風流踊」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録された津和野弥栄神社鷺舞の企画展。
期間　６月１日(土)～７月31日(水)
所 問 津和野町日本遺産センター（後田口253）☎ 0856-72-1901

▲詳細はこちら

山陽小野田 第92回厚狭花火大会

打ち上がる迫力ある姿と川面に映る優雅な姿が魅力的な、約2,500発の花火が夜空を彩ります。
日時　７月25日（木）20時～
場所　厚狭川河畔（大字厚狭）
問 山陽商工会議所☎0836-73-2525

▲詳細はこちら

宇部 第70回宇部市花火大会

宇部港という絶好のロケーションを背景に、真下から花火が見えるような迫力のある花火大会。
日時　７月27日（土）20時～
場所　宇部港（港町１丁目５-５）
問 実行委員会☎ 0836-31-0251

▲詳細はこちら

防府 防府天満宮七夕まつり

期間中は「傘玉アート」によって境内を幻想的に照らす「光の斎庭（ゆにわ）」が皆様をお迎えします。
期間　７月１日（月）～７日（日）
所 問 防府天満宮（松崎町14-1）
☎ 0835-23-7700

▲詳細はこちら

7月 イベントカレンダー

6/29（土）～11/10（日）

YCAM Dance Crew 2024 ダンスブース展示
所 問 山口情報芸術センター［YCAM］☎ 083-901-2222
コミュニティ・スペースに体験型のダンスブースが登場！

撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

7/13（土）～9/15（日）

コロガルあそびのひゃっかてん2024
所 山口井筒屋２階
問 山口情報芸術センター［YCAM］☎ 083-901-2222
子どもたちが自ら考え学ぶ遊び場が、今年もオープン。

撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

7/27（土）

第46回ふしの夏まつり
所 椹野川東津河川公園
問 実行委員会
☎ 083-973-4274
総踊り、約3,000発の花火など。

皆様の願いとともに

短冊に願いをつづり、笹や竹の葉に飾る七夕の季節が近づいてきました。
今月号の特集で紹介をした「山口祇園祭」など、市内では、今年も各地でさまざまな夏祭りが予定されています。
皆様も、こうしたお祭りに参加したことや、ご家族やお友達と一緒に出掛けられたことが、夏の思い出として、今も心に残っておられることと思います。
本市ならではの風土に育まれたお祭りは、私たちに、それぞれの地域で続く歴史や文化を知ることや、先人の思いや願いを継承していくことへの大切さを感じるきっかけを与えてくれます。また、地域のつながりや連帯感を高め、ふるさとへの誇りや愛着を養う、そんな大きな役割も持っていると思います。
こうしたお祭りがある日常の暮らしを引き継いでこられた全ての方々に感謝しつつ、これからも、誰もが願う「安心して元気に暮らしていけるまち」を、皆様と共に、しっかりと築いていきたいと思います。

山口市長 伊藤和貴

©りおた

この広報紙は再生紙を使用しています。
処分する際は、「新聞紙」として古紙類の分別収集に出しましょう。

市政情報を「山口市LINE公式アカウント」で配信しています。

市報やまぐち　７月１日号
発行　山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1 https://www.city.yamaguchi.lg.jp
編集　総合政策部広報広聴課 ☎ 083-922-4111（代表）／印刷　株式会社マルニ